

やさしい街

広報誌

No. 188

ふれあい
ネットワーク



さっぽろ市社協

「絆の証し 東日本大震災復興支援パネル展」



東日本大震災から1年が経過しました。札幌市社協、札幌市共同募金委員会では、東日本大震災の被災地で行われた復興支援や災害支援ボランティア活動の取り組み、義援金募金活動の紹介等を通して「助けあい」「支え合い」の精神が、日々の生活の中にも根をおろし、あたたかい街づくりへとつながっていくことを願い、3月1日（木）から3月12日（月）まで、札幌市社会福祉総合センターアトリウムにて、「東日本大震災復興支援パネル展」を開催しました。

本会では、これからも継続して被災地の支援活動や義援金活動に取り組んでまいりますので、皆様の温かいご支援、ご協力をお願い申し上げます。

CONTENTS

- 2・3 特集 東日本大震災から1年
- 4 社会福祉総合センターの取り組み、シリーズ「これも社協の仕事」
- 5 特集 企業の社会貢献活動
- 6・7 札幌市共同募金委員会から
- 8 情報トピックス



本誌は赤い羽根共同募金の助成金で発行されています

特集 東日本大震災から1年



東日本大震災から1年が経過しました。この地震や津波の影響による死者・行方不明者は1万9000人を超え、現在でも、全国で34万人を超える方が、避難生活を続けています。

こうした中、本会では、様々な被災地支援活動を行ってきましたが、今後も継続して、被災地支援活動に取り組むと共に、大規模災害に備えた取り組みを進めています。

講演会 寄り添う気持ちを忘れない

3月1日、札幌市社会福祉総合センター大研修室にて、東日本大震災から1年が経つ今、震災当時や現在の被災地の様子、これからの防災・減災について、様々な立場の方から講演をいただきました。

仙台市で災害ボランティアセンターの運営や復興支援活動などに取り組んだ伊藤氏・古橋氏からは、災害への備えが進んでいると言われている仙台市においても想定外な状況であり、仙台駅周辺や避難所には、帰宅困難者や地域住民が溢れかえり、避難所では、体育座りをするのが精いっぱいであった様子など、震災当時の混乱した状況についての話がありました。

また、都心部の地震被害によるボランティア要請は、高層マンションの住民からの室内の片づけや生活水の運搬などが主で、多くの学生がボランティアに取り組み、ガソリンが不足していた時には、自転車で遠くのボランティア依頼者宅へ支援に駆けつけた活動の話がありました。

震災後に実施した住民のアンケートからは、「3日ぐらいは自分の家で、周りの人に頼らず生活できるように備えをしておく必要があるのではないか」といった自助の強化の声が聞かれ、「日ごろの防災訓練や地域行事における住民の連携・協力体制が大切」であることを強調されていました。

福島県からの避難者である穴戸氏は、県内に戻りたくても戻れない事情や、現在も県内で生活を続けている方の苦悩など、被災者の率直な気持ちを語り、その話に、涙を流す参加者も多くいました。最後には「北海道の皆さんには、温かく受入れていただいています。これからも震災を忘れず、被災者へ寄り添ってください」とのメッセージがありました。

被災地の取材を続けてきた松原氏が感じたことは、「防災・減災には、隣近所・地域のつながりが大切である」「震災を忘れずにできることをおこなう」ことであり、「震災当時と比べ、震災番組の視聴率は段々と低くなってきているのが事実ではあるが、NHKディレクターとして、たとえ視聴率が低くても、この震災を忘れず、被災地の現状や被災者の思いを伝えていきたい」という熱い思いに、参加者は大きな拍手を送っていました。

講演者

仙台市青葉区社会福祉協議会	伊藤 裕 氏
SONAE 仙台防災学習研究所 所長	古橋 信彦 氏
桜台宿舎避難者自治組織「桜会」代表	穴戸 隆子 氏
NHK 札幌放送局報道番組ディレクター	松原小百合 氏



災害支援ボランティアフォローアップ研修会

11月25日、千歳市防災学習交流センターそなえーるにて、防災学習と野外炊き出し訓練を行う研修会を実施し、災害ボランティア登録者と本会で実施したボランティアバス参加者72名が参加しました。また、2月28日・29日には、市・区災害ボランティアセンター設置・運営訓練を目的とした研修会を実施しました。

札幌市で災害が起きた時を想定し、災害ボランティアセンター内での担当業務などを頭と体で覚えるようシュミレーションを行ったほか、仙台市の災害ボランティアセンターの実際の立ち上げの様子などを学びました。参加者は、「講義や模擬演習は、実際の災害ボランティアセンターの動きを想定した内容で、大変わかりやくとても良かった」「チームワークの大切さを改めて感じた」と話しをしていました。

今回初めて実施したこのフォローアップ研修会は、今後も継続して実施し、災害ボランティアセンターの運営スタッフを担うことができるボランティアリーダーを育成していきます。

※このフォローアップ研修会に参加するためには、災害支援ボランティア講座・中級編の受講が条件となっています。



札幌スノーバスターズによる除雪ボランティア活動

札幌市ボランティアセンターでは、東北復興支援ボランティアバスに参加した方などを中心に、ひとり暮らし高齢者宅の除雪を行うボランティアグループ「札幌スノーバスターズ」を結成しました。代表は、新潟県中越地震などで災害ボランティア活動の経験が豊富な石川法男さんが努めています。現在のところ会員28名と高校生のグループで構成され、2月11日の初めての活動では、中央区・東区の3軒、16日には、北区1軒の除雪を行いました。

岩見沢市など市近隣では、大雪・豪雪により住民の生活にも影響を与えていますが、いつ札幌市内でもこのような状況が起きるかわかりません。「災害時のような、いざという時には、平時の活動が活かされる」といった教訓が背景にあります。ボランティアに参加している方は、「困っている方に手を差し伸べるのは、被災地ボランティアと共通部分がある」「自分にできることがあれば、協力したい」とその気持ちは熱く、汗をかきながら、熱心に除雪ボランティアに取り組んでいました。

この除雪作業は、被災地におけるガレキ撤去などの作業と同様に、団体の力が大いに発揮されました。

今後も、スノーバスターズは活動を継続し、雪害地域からのボランティア要請があれば、応じることにしています。



雪まつり雪像製作 ～よみがえれ！一本松～



今冬のさっぽろ雪まつりにおいて、ボランティアバス参加者有志により、雪像がつくられました。ボランティアバスでは、岩手県陸前高田市・大槌町などでボランティア活動を行いましたが、陸前高田市では、大津波に遭いながらも、倒れることがなかった復興のシンボル「一本松」の姿を見て、胸を打たれ、勇気づけられた参加者も多くいました。現地で感じた気持ちと「震災を忘れない」というメッセージが、この雪像に込められています。

「震災から1年！東北復興応援と被災地から学ぶボランティアバス」

本会が、昨年企画実施した『ボランティアバスツアー』の活動先であった陸前高田市や岩手県沿岸部に再度出向き、復興支援のボランティア活動や、地元住民の協力による防災・減災の学習会や交流会などを行い、これまでの現地の復興を体験する『復興応援ボランティアバスツアー』を実施します。

■実施時期：平成24年5月～7月に3便実施予定

■活動先：岩手県釜石市及び陸前高田市を予定

■活動内容：草刈りなどのボランティア活動、地元住民から学ぶ防災学習ガイド、仮設店舗での交流など

■宿泊先予定：宝来館(岩手県釜石市)他

※詳細については、ボランティアの受入れ側との調整や準備が整い次第、札幌市社協ホームページ等にてお知らせをいたします。



社会福祉総合センターのご案内

社会福祉総合センターは、市民の皆様には福祉活動の場を提供することを目的とした、多くの人が集い、ふれあい、学び、楽しむことができる施設です。

地下鉄東西線西18丁目駅から徒歩2分とアクセスにも大変便利です。是非ご利用下さい。

センター内の主な施設のご案内

《1階 元気カフェふらっと》

ケーキセット(400円～)、ランチ(500円～)などを提供しています。夏季には中庭も開放しています。

《3階 情報センター資料室》

蔵書約40,000冊。福祉に関する図書や映像資料はもちろん、小説や趣味の本なども貸し出しを行っています。

《4階 福祉用具展示ホール》

平成23年1月にリニューアルオープンしました。300点以上の福祉用具や介護用品を実際に目で見、触って、体験することができます。



貸会議室利用のご案内

各種研修会や会議、サークル活動などにご利用いただけます。

	定員	午前	午後	夜間	全日
		9:00～12:00	13:00～16:00	17:00～21:00	9:00～21:00
大研修室	300名	¥12,500	¥14,300	¥16,600	¥34,900
第1会議室	20名	¥1,100	¥1,300	¥1,500	¥3,200
第2会議室	45名	¥2,000	¥2,300	¥2,600	¥5,500
第3会議室	45名	¥2,100	¥2,400	¥2,800	¥5,800
特別会議室	12名	¥1,100	¥1,300	¥1,500	¥3,100
視聴覚兼会議室	60名	¥3,100	¥3,600	¥4,100	¥8,700

・601円以上の入場料や参加費を徴収する場合や、営利・営業の目的で使用する場合は、料金表の倍額になります。

・プロジェクター、ピアノ(有料)、マイク、ホワイトボード(無料)などの貸出備品も用意しております。

〒060-0042 札幌市中央区大通西19丁目1-1 TEL(011)614-2948 FAX(011)614-1109

■開館時間/午前8時45分～午後9時 ■休館日/12月29日～翌年1月3日まで

「これも社協の仕事」～札幌市社会福祉協力校事業の実施～



次代を担う児童・生徒が人間性豊かな社会の一員として育つためには、少・青年期から社会福祉への理解と関心を高めることが大切です。

そこで、札幌市社会福祉協議会では、市内の小学校、中学校及び高等学校の児童・生徒を対象として、社会奉仕、社会連帯の精神を養うとともに、児童・生徒を通じて家庭及び地域社会への啓発を図ることを目的とした、札幌市社会福祉協力校事業を行っています。

本事業がスタートした昭和63年から平成23年までに、373校が既に指定を受け、友愛訪問・交流活動、学校行事への招待活動、収集・募金活動、地域環境整備活動等の活動を軸として、各学校の特色を生かした福祉教育が実践されています。

特に最近では、障がい福祉や高齢福祉に関する取組みが積極的に行われており、障がいを持つ方を学校に招き、直接話を聞くことで、障がいへの理解を深める授業や、ひとり暮らし高齢者宅の除雪ボランティアなどを実施する学校も増えてきています。



平成21～23年度指定	前田北中学校・北海道教育大学附属札幌中学校・新琴似西小学校・福住小学校・北野平小学校
平成22～24年度指定	札幌新川高校・柏中学校・手稲西中学校・屯田南小学校・北郷小学校
平成23～25年度指定	幌南小学校・茨戸小学校・南白石小学校・平和通小学校・琴似小学校

特集 企業の社会貢献活動

企業や団体の社会貢献活動やボランティアへの関心は、年々高まり、参加の取り組みも広がってきています。ここでは、企業の特徴を活かした社会貢献活動や企業で取り組むボランティア活動を紹介します。

高齢者宅の除雪支援活動

自力での除雪が困難な世帯にとって、灯油タンクまでの通路の除雪や、窓下に落雪の処理などは大変な作業です。東芝北海道支社並びにグループ企業では、毎年、積雪量のピークとなる2月に、本会で調整を行った高齢者や障がい者世帯の除雪活動を行っています。2月11日、18日に行った除雪活動には126名が参加し22世帯の除雪を行いました。



東区の高齢者宅では、屋根からの落雪により、窓の一部がふさがれ、薄暗い室内で過ごしている状況にありましたが、積み重なった雪や氷の固まりを敷地内に移動することにより、部屋に明かりが入るようになりました。

除雪に参加した男性は、「除雪を行った世帯からも大変喜ばれるし、同僚と一緒に汗を流して活動することは職場内の連帯感向上にもつながるので、これからも協力していきたいです」と話しをしてくれました。

福祉施設の通所者・園児に楽しみをプレゼント

定山溪ホテルでは、南区内の福祉施設への貢献活動として、ホテルの特色を活かし、12月に南区の和幸園デイサービスセンターの通所者を温泉への招待、また、知的障がい児施設もなみ学園のクリスマス会に、クリスマスケーキをプレゼントしました。定山溪ホテルでは、区内の社会福祉施設への貢献について、札幌市ボランティアセンターに相談し、地元の南区社協の調整のもと、今回の活動となりました。

デイサービスの通所者は、ホテル自慢の露天風呂につかり久しぶりの温泉を満喫し、もなみ学園の子ども達は、大きなケーキに大喜びでした。

定山溪ホテルでは、これからも、積極的に区内の福祉施設に地域貢献していきたいとのことです。



商談スペースを子育てサロンに貸し出し

大和ハウス工業札幌支店では、社会貢献活動として、商談スペースを地域の方々に一般開放し、有効に活用してもらいたいという思いを持っていたところ、札幌市ボランティア研修センターの出張研修がきっかけで、周辺の会館で子育てサロンを開催している「きらりカフェ」が会場スペースや運営面で課題を抱えていることを聞きました。地元である東区社協や鉄東地区の主任児童委員さんの橋渡しにより、地域の子育てサロン活動を応援するため、無償で月1回、商談スペースとチャイルドコーナーを「きらりカフェ」へ貸し出すことになりました。



1月17日、大和ハウス工業札幌支店で初めて開催された子育てサロンには、50組以上の親子が参加しました。子どもたちは、いつもより広いスペースやたくさんのおもちゃに大はしゃぎで、子育て中のお母さん方は、栄養士による離乳食の無料相談コーナーや、手作りパンや雑貨、アロマグッズの販売やヒーリングマッサージなどの出店ブースを楽しみながら交流を深めていました。

企業の社会貢献活動・ボランティア活動を支援します

本会では、企業や団体の社会貢献活動やボランティア活動の調整・紹介を行います。また、社会貢献活動や企業のボランティア活動について、より理解を深めていただくための出前講座も無料で実施しています。詳細については、札幌市ボランティアセンター（8ページ参照）へお問い合わせください。

○企業ボランティア活動の例

金銭・物的支援、施設開放、イベント支援、環境美化活動、収集ボランティア等

○出張研修の内容例

車いす講座、高齢者・障がい者疑似体験、地域見守りサポーター養成講座、災害支援ボランティア講座等

(敬称略・順不同)

法人及び団体の部は2万円以上、個人は1万円以上のご寄付を掲載いたしました

たくさんのご寄付 ありがとうございます

法人及び団体の部

中央区

(株) 竹中工務店 北海道支店
(株) 石川物産館
(株) HBA
(株) NOHYU
(株) コウキ
(株) チロリン村
(株) フヨウサキナ
(株) 伊藤組
(株) 札幌ネクシス
(株) 札幌丸井三越
(株) 札幌振興公社
(株) 山二辻商店
(株) 松岡ビル
(株) 東急百貨店 札幌店
(株) 北海道新聞社
(株) 北洋銀行
(財) 鉄道弘済会 北海道支部
(財) 北海道交通安全協会
(社) 札幌銀行協会
(NPO) さっされん
岩田地崎建設(株)
カタギリ・コーポレーション(株)
金光教 札幌地区連合婦人会
セントラルリーシングシステム(株)
道路工業(株)
ホクレン包材(株)
丸彦渡辺建設(株)
元気ショップ いこ〜る
五雲山 龍興寺
札幌テレビ放送(株)
札幌医科大学 事務局
札幌交通機械(株)
真如苑 北海道本部
中央区災害防止協力会
中央保健クラブ
北海道森林管理局
北海道電力(株) 札幌支店
北海道放送(株)
北海道防衛局
陸上自衛隊札幌駐屯地
西地区民生委員児童委員協議会
円山地区民生委員児童委員協議会
山鼻地区民生委員児童委員協議会



北区

(株) ムトウ
(株) 北海道日立システムズ
サッポロ木彫研究クラブ
札幌北ロータリークラブ
寿薬品(株)
新琴似三番通西福寿友の会
双葉老人クラブ
拓北ひまわり長寿会

東区

(協) 札幌繊維卸センター
(医) こかい耳鼻咽喉科
(医) 社団豊生会
(株) 東翔
青柳(株)
関販テクノ(株)
鉄東地区連絡協議会
札幌平成クラブ
札幌第2福ちゃん保育園
志洋商事(株)
前田倉庫(株)
中沼寿会
北海道郵便通送(株)
北陽ビジネスフォーム(株)
陸上自衛隊丘珠駐屯地
札幌地区民生委員児童委員協議会
元町地区民生委員児童委員協議会

白石区

(医) 札幌呼吸器科病院
(医) 三樹会病院
(医) 信佑会 吉田記念病院
(株) キャスター
カフェバー 55
ホクニ工業(株)
栄通鶴寿会
菊水親老クラブ
東神電材(株)
柏山会
白石中央五福会
白石福寿会
北郷明友会
北都明生会
北東白石地区民生委員児童委員協議会



厚別区

(医) 記念塔病院
(医) おおし内科・リウマチ科クリニック
(株) ドーコン
(株) 大栗新聞販売所
(有) 草島工業
SOC(株)
みずほ楓会
札幌社会保険総合病院
南旭町しらかば会
厚別南地区民生委員児童委員協議会

豊平区

(医) 慈昂会 福住内科クリニック
(株) 大宮ホーロー北海道製作所
(株) 開発調査研究所
(株) 平岸グランドビル

(医) 北樹会病院
(医) いちご会 美加レディースクリニック
札幌日信電子(株)
福住福寿会
恵仁会 佐々木内科病院
札幌東自動車学校
札幌保育園
自衛隊札幌病院
豊平地区民生委員児童委員協議会
美園地区民生委員児童委員協議会

清田区

清田元町ゆうあいクラブ
北野地区民生委員児童委員協議会

南区

(医) 五輪橋産科婦人科小児科病院
(有) 石川燃料商事
重森産業(株)
第一エンヂニアリング(株)
なりた耳鼻咽喉科アレルギー科クリニック
もいわ中央保育園
間山実業(有)
硬石山クラブ
石山見晴寿会
和食レストランとんでん川沿店
北の沢デイセンター
陸上自衛隊真駒内 駐屯地司令

西区

(株) クリーンリバー
(株) 北海道ダイエーテック
琴似商店街振興組合
札幌琴似整形外科
発寒神社
薬師寺
佐藤包装紙器(株)
三王印刷(株)
三和荘
宗教法人 浄恩寺
日本鍍金工業(株)
発寒幼稚園
福井福寿会
八軒地区民生委員児童委員協議会

手稲区

WAY (ウエイ)



個人の部

中央区

池田 順子 笠原 昇一 後藤 一保
須藤 寿

北区

加藤 繁司 佐藤 靖 長津 寿実
舟橋 健市 水上 平吉

東区

氏家 猛 江戸フジ子 真田 信行
高橋 信次 鶴見 英夫

豊平区

岩井 正尚 小田 雅視 旗本 道男
山本笑美子

清田区

森下 藤雄 横田 志朗

南区

二宮 了ツ 林 勲 堀井 和
増田 幸三

西区

近藤 勝雄 條野 正志 三上 忠司
宮坂 榮二

募金協力校

小学校

市立山鼻南小学校
札幌三育小学校
市立南白石小学校
市立東白石小学校
市立伏古北小学校
市立ひばりが丘小学校
市立信濃小学校
市立大谷地東小学校
市立共栄小学校
市立上野幌小学校
市立上野幌西小学校
市立上野幌東小学校
市立厚別西小学校
市立厚別北小学校
市立厚別通小学校

市立もみじの森小学校
市立もみじの丘小学校
市立青葉小学校
市立厚別東小学校
市立小野幌小学校
市立真駒内緑小学校
市立発寒東小学校
市立手稲鉄北小学校



中学校

市立柏中学校
市立宮の森中学校
市立白石中学校
市立栄中学校
市立信濃中学校
市立厚別南中学校
市立上野幌中学校
市立厚別北中学校
市立もみじ台中学校
市立もみじ台南中学校
市立青葉中学校
市立西岡中学校
市立平岡中学校
市立手稲西中学校

高校

市立札幌大通高等学校
札幌聖心女子学院
札幌星槎国際高等学校
北海道札幌拓北高等学校
北海道札幌篠路高等学校
北海道札幌北陵高等学校生徒会
北海道札幌開成高等学校
北海道札幌東豊高等学校
北海道札幌東商業高等学校
北海道札幌厚別高等学校
北海道札幌啓成高等学校
北海道札幌新陽高等学校ボランティア部
札幌山の手高等学校 JRC

専門学校

札幌医学技術福祉専門学校

全店舗に募金箱を設置していただきました

(株) ツルハホールディングス、イオン北海道 (株)、マックスバリュ北海道 (株) では、道内の全店舗に赤い羽根共同募金の募金箱を設置いただき、募金活動にご協力をいただきました。また、その他多くの店舗や団体の皆さんにも募金箱を設置いただきました。

- ・ (株) ツルハホールディングス 118,433 円 ※市内 92 店舗合計
- ・ イオン北海道 (株) 71,996 円 ※市内 8 店舗合計
- ・ マックスバリュ北海道 (株) 186,944 円 ※市内 37 店舗合計



札幌市共同募金委員会より

あたたかいご協力、ありがとうございます

平成 23 年度募金総額

	平成 23 年度募金額	平成 22 年度募金額	対前年増減額
一般募金	105,469,373 円	107,330,746 円	▲ 1,861,373 円
地域歳末募金	3,763,649 円	3,503,646 円	260,003 円
合計	109,233,022 円	110,834,392 円	▲ 1,601,370 円

みなさまからの善意は、民間の福祉施設や団体、ボランティア活動を通じて、地域の推進に役立っています。

札幌市共同募金委員会

〒060-0042 札幌市中央区大通西19丁目1-1
札幌市社会福祉総合センター TEL 011-614-3532

一人ひとりの優しさは、社会の資産です。

札幌市ボランティア研修センター各種研修会のご案内

精神障がいを理解するための基礎講座

- ▼内 容/ 専門家による講義と当事者の実話を通じ、精神障がいに関する基本的知識を学びます。障がい理解は、災害時においても大切なテーマとなっています。
- ▼講 師/ ひかり工房 サービス提供責任者 小畑 友希 氏 ほか
- ▼日 時/ 4月23日(月) 10:00~12:00
- ▼場 所/ 札幌市ボランティア研修センター第1研修室
- ▼申込方法/ 電話かFAX
- ▼定員/ 30名(先着順) ▼受講料/ 500円

知的障がいを理解するための基礎講座

- ▼内 容/ 専門家による講義と当事者との交流を通じ、知的障がいに関する基本的知識を学びます。孤立をなくす地域を目指しましょう!
- ▼講 師/ 社会福祉法人 朔風 法人統括施設長 森本 千尋 氏ほか
- ▼日 時/ 5月17日(木) 10:00~12:00
- ▼場 所/ 札幌市ボランティア研修センター 第1研修室
- ▼申込方法/ 電話かFAX ▼定員/ 30名(先着順)
- ▼受講料/ 500円

▽お申込み・お問い合わせ/ 札幌市ボランティア研修センター (下記参照)

ボランティア活動保険の更新をお忘れなく

平成23年度に加入いただいたボランティア活動保険は、平成24年3月31日で保険期間が終了します。平成24年度の保険の更新の手続きがお済みではない方は、忘れずに更新の手続きをお願いいたします。また、保険未加入の方も、万が一の事故に備えて、ご加入をお勧めいたします。詳細・申込先 札幌市ボランティアセンター (下記参照) またはお住まいの区社会福祉協議会

札幌市社会福祉協議会の連絡先

〒060-0042
札幌市中央区大通西19丁目1番1号 札幌市社会福祉総合センター内

代表	011-614-3345
総務課	011-614-3343
札幌市社会福祉総合センター	011-614-2948
地域福祉課地域福祉係	011-614-3344
" 生活福祉係	011-614-0169
FAX(上記共通)	011-614-1109
情報センター資料室	011-614-2001
FAX	011-615-2666
自立支援課	011-612-6110
高齢者・障がい者生活あんしん支援センター(相談係)	011-632-7355
FAX(上記共通)	011-613-5486

〒060-0001
札幌市中央区北1条西9丁目 リンケージプラザ2F


札幌市ボランティア研修センター	011-223-6005
札幌市ボランティアセンター	011-219-1737
FAX(上記共通)	011-261-8881

札幌市社会福祉総合センター・札幌市ボランティア研修センターでは会議室、研修室の貸出を行っています。ボランティア活動や市民活動の打ち合わせや研修の場としてご活用ください(受付時間:月曜日から金曜日8:45~17:15)。

*ホームヘルパー養成講座2級通信課程
①最短29日コース(4月9日開講)
②3か月土曜コース(5月15日開講)
※添削課題 4回提出→スクーリング8回→実習5日間
忙しい方も通信講座なら資格GETが可能です!

*介護保険事務士上級e-ラーニング
いつでもどこからでもPCさえあれば自由に学べるe-ラーニングシステム!
コンプライアンス・労務管理・請求事務等即戦力になる知識満載です!
※介護報酬改定のため、新しくなって8月1日開講予定!
受講生随時募集中!事務のこをを知りたい方必見!

求職者支援訓練 5月・6月同時募集中! 実務者研修通信課程(9ヵ月コース)
詳しくは...【今すぐHPへGO!!】 4月中旬開講!受講者大募集!
http://www.tsushimakinen.ac.jp
【Mailでのお問い合わせ先】
m_kobayashi@tsushimakinen.ac.jp



●お問い合わせ 医療・福祉の現場から誕生した 学校法人 つしま記念学園専門学校 日本福祉学院
〒062-0021 札幌市中央区南1条4丁目31-1 つしま記念学園研修センター
連絡先 ▶ 011-853-2301 資格課事務課

賛助会員の募集

札幌市社会福祉協議会では、活動に賛同し協力していただける賛助会員を募集しています。皆様からいただいた賛助会費は、札幌市の地域福祉を推進する貴重な財源として、様々な事業に役立てています。本会の活動の趣旨をご理解いただき、地域福祉のサポーターとして、お互いに支え合う街づくりの実現のため、ご協力をお願いいたします。

【年会費】

- 個人(1口) 1,000円 ■団体(1口) 10,000円
- 問い合わせ先 総務課(左記参照)

情報センター資料室より 今回のオススメ

『酪農家による酪農家のための高齢者福祉』

河合 知子/竹内 美紀 共著 筑波書房

農協職員と地域住民が運営する、手作りのデイサロン開設!!

北海道東部の浜中町を舞台に、酪農家の第一線を退いた高齢者たちの外出機会をつくらうと始めた活動が、徐々に地域をつないでいく様子を記した一冊。



身近な地域福祉情報は、お近くの区社会福祉協議会の広報誌・ホームページをご覧ください。
ホームページアドレス <http://www.sapporo-shakyo.or.jp/>

札幌市社会福祉協議会広報誌「やさしい街」

通巻188号 2012年3月28日発行

発行/社会福祉法人札幌市社会福祉協議会

企画から印刷・製本まで
トータル技術で社会に貢献する



株式会社 **さんけい**

〒063-0850 札幌市西区八軒10条西12丁目2-48
☎(011)611-8866(代) FAX(011)611-0422